

平成24年度  
(2012年度)

# 事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会

## 【総括報告】

私たちを取り巻く社会の状況は、経済的困窮や社会的孤立の状態にある生活困窮者をめぐる課題が深刻化しています。そのような状況のなかで、国においても生活困窮者の支援の考え方が示され、その対応が社協にも求められています。

また、平成24年8月には滋賀県内で集中豪雨による被害があり、災害への備えの必要性を認識させられました。

平成24年度は、「近江八幡市地域福祉活動計画」の初年度として、計画達成に向けての取り組みを推進しました。特にボランティアセンター設置に向けての取り組みは、「近江八幡市ボランティアセンター設立準備委員会」を社会福祉協議会と市福祉総合相談課において共同設置し、9名の委員により近江八幡市のボランティアセンターの目標や機能について検討していただきました。

また、「地域福祉活動計画」の目標を達成するためには、安定した組織運営を行っていくための事業戦略や組織・経営基盤の強化を図る必要があります。このことから、市社会福祉協議会では、平成24年度、25年度の2年間で「発展強化計画」の策定を行います。

地域福祉活動を推進する取り組みとしては、平成23年度に引き続き、八幡学区と安土地区において「小地域ケア会議」に取り組みました。この取り組みを通じて、小地域における見守り活動の必要性等を啓発しました。

平成24年度は、介護保険の介護報酬改定の年であったため、社会福祉協議会が運営する介護保険事業においてもサービス提供時間の変更などを行いました。社会福祉協議会の収入の約70%が介護報酬となっており、本会の現体制を維持するためには介護保険事業の充実が不可欠なものとなっていますが、事業運営はますます厳しいものとなっています。

厳しい状況にあっても、地域福祉活動計画で目標としているように地域福祉活動と通所介護事業の両方を行う本会として、地域福祉と在宅福祉サービスを連携させていけるよう取り組んでいきます。

社会福祉協議会は、地域における生活ニーズの相談に対応できる体制を構築し、制度で解決できない課題に対しても応えていく組織として、誰もが安心して暮らすことの出来る地域福祉の実現をめざして参りたいと考えています。

## 【事業別報告】

### I 総務課

#### 1. 法人運営

##### 〈評価と今後の方向性〉

平成24年度は、社会福祉協議会の基盤強化を図るため、発展強化計画の策定を開始しました。

厳しい経営状況のなかで、安定した組織運営を行っていくための事業戦略や組織・経営基盤の強化を図っていきます。

平成24年度は、賛助会員募集についても力を入れ、198件、総額916,000円のご協力をいただきました。今後も賛助会員の募集を推進していきたいと考えています。

##### (1) 会務の運営

###### ①理事会

本会活動の適正な運営と総合的な活動の推進を図るため、理事会を開催しました。

平成24年度は5回開催しました。

| 開催日               | 議事内容  |
|-------------------|---|
| 第1回<br>平成24年5月29日 | 1. 平成23年度事業報告について<br>2. 平成23年度一般会計決算について<br>3. 顧問の委嘱について<br>4. 評議員の選任について   |
| 第2回<br>平成24年7月4日  | 5. 評議員の選任について<br>6. 職員就業規則の改正について<br>7. 職員の育児・介護休業等に関する規程の改正について<br>8. デイサービスセンターひまわりにおける特殊浴槽改修工事の着手について  |
| 第3回<br>平成24年10月1日 | 9. 会員規程の改正について<br>10. 事務局および職員に関する規程の改正について<br>11. 職員就業規則の改正について<br>12. 嘱託職員および臨時職員就業規則の制定について<br>13. 非常勤ホームヘルパー就業規則の改正について<br>14. 職員採用規則の改正について<br>15. 職員の再雇用に関する規程の改正について<br>16. 職員給与規則の改正について<br>17. 職員の期末手当および勤勉手当の支給に関する規程の改正について<br>18. 退職手当に関する規程の改正について<br>19. 職員の初任給、昇格、降格、昇級および降級に関する規則の改正について<br>20. 旅費規程の改正について |

| 開催日                | 議事内容  |
|--------------------|---|
| 第4回<br>平成24年12月19日 | 21. 平成24年度一般会計収支予算第1次補正（案）について  |
| 第5回<br>平成25年3月26日  | 22. 平成25年度事業計画（案）について<br>23. 平成25年度一般会計収支予算（案）について<br>24. 定款の改正について<br>25. 事務局および職員に関する規程の改正について<br>26. 居宅介護支援事業所あづち運営規程の廃止について<br>27. 居宅介護支援事業所ひまわり運営規程の改正について<br>28. ヘルパーステーションあづち運営規程の改正について<br>29. ヘルパーステーションあづち（介護予防）運営規程の改正について<br>30. 居宅介護事業所運営規程の改正について<br>31. 経理規程の改正について<br>32. 社会福祉基金規程の改正について |

## ②評議員会

本会事業の適正な運営と総合的な活動の推進を図るため、評議員会を開催しました。  
平成24年度は、3回開催しました。

| 開催日                | 議事内容   |
|--------------------|--|
| 第1回<br>平成24年5月29日  | 1. 平成23年度事業報告について<br>2. 平成23年度一般会計決算について<br>3. 理事の選任について         |
| 第2回<br>平成24年12月19日 | 4. 平成24年度一般会計収支予算第1次補正（案）について                                    |
| 第3回<br>平成25年3月26日  | 5. 平成25年度事業計画（案）について<br>6. 平成25年度一般会計収支予算（案）について<br>7. 定款の改正について |

## ③監事会

会計の透明性を図るため、監事による監査を実施しました。

また、会計事務所による定期監査を毎月1回定期的に受け、会計事務の透明性、正確性  
を図りました。

| 開催日        | 内容                  |
|------------|---------------------|
| 平成24年5月15日 | 平成23年度の事業報告および決算の監査 |

#### ④研修（社協役員・民児協会長合同研修会）

堺市社会福祉協議会から職員を招き、研修会を開催しました。

| 開催日         | 内容  |
|-------------|---|
| 平成24年11月26日 | 堺市におけるコミュニティソーシャルワーク「地域福祉ねっとワーカー」の特徴と実践について |

### （2）社会福祉協議会の基盤強化

#### ①発展強化計画の策定

地域福祉活動計画を達成するため、社会福祉協議会の組織強化を図ることを目的に発展強化計画の策定を開始しました。

策定委員会を開催したほか、職員によるプロジェクト会議を毎月1回程度開催しました。また、計画策定にあわせ、職員アンケートを実施しました。

| 開催日                | 内容  |
|--------------------|---|
| 第1回<br>平成24年6月15日  | 1. 「社協発展強化計画の目的、意義について」   |
| 第2回<br>平成24年9月21日  | 1. 職員アンケートの意見および現状と課題について   |
| 第3回<br>平成24年11月15日 | 1. 今後の基本的な方針および今後の取り組みについて<br>①地域福祉の推進<br>2. その他<br>①策定スケジュールの見直しについて |
| 第4回<br>平成25年1月17日  | 1. 今後の基本的な方針および今後の取り組みについて<br>①経営                                     |

#### ②会費の募集

賛助会費の募集について、役員および職員で取り組みました。

|      | 平成24年度     | 平成23年度     |
|------|------------|------------|
| 一般会費 | 6,548,920円 | 6,597,560円 |
| 賛助会費 | 916,000円   | 543,100円   |

### （3）苦情解決の実施

社会福祉協議会が実施するサービスの苦情解決を図るため、第三者委員を設置しました。第三者委員に諮る苦情はありませんでした。

また、サービスの向上を図るため、本所、支所それぞれにおいて、毎月1回職員によるサービス向上委員会を開催しました。

### ①第三者委員会議の開催

| 開催日         | 内容                        |
|-------------|---------------------------|
| 平成24年10月31日 | 平成23年度および平成24年度上半期の状況について |

### ②相談（苦情）件数および事故件数

|                  | 平成24年度 | 平成23年度 |
|------------------|--------|--------|
| 福祉サービスに対する相談（苦情） | 2件     | 15件    |
| 福祉サービスにおける事故     | 6件     | —      |
| 地域福祉活動に対する相談（苦情） | 4件     | 6件     |
| 地域福祉活動における事故     | 2件     | —      |
| 施設管理業務に対する相談（苦情） | 0件     | 1件     |
| 施設管理における事故       | 2件     | —      |
| その他              | 1件     | 0件     |
| 合計               | 17件    | 22件    |

## 2. 庶務

### 〈評価と今後の方向性〉

社会福祉協議会の活動を広報紙「社協おうみはちまん」やホームページを通して啓発してきましたが、今年度は、さらにブログやフェイスブックなどを通して情報発信を行いました。

今後も様々な媒体からリアルタイムに情報発信していきたいと考えています。

### （1）広報啓発

市民に対し社協活動や地域福祉への理解を深めるため、広報紙を発行するとともに、ホームページ等を通して啓発を行いました。

また、福祉功労者への表彰と福祉に対する啓発を目的に市と社会福祉大会を開催しました。

①広報紙「社協おうみはちまん」の発行 4月、5月、7月、9月、11月、3月

②ホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報発信

### ③社会福祉大会

と き：平成24年10月6日（土）

と ころ：近江八幡市文化会館小ホール

内 容：表彰、講演（講師：山中比叡平学区社会福祉協議会長 楠本耕之氏）

参加者：約190名

## (2) 助成事業

福祉団体等に対し助成を行いました。

①学区（地区）社会福祉協議会に対し助成

②団体助成

（福祉関係団体助成：近江八幡市赤十字奉仕団、近江八幡地区更生保護女性会、近江八幡市遺族会）

（児童福祉助成：近江八幡市子ども会育成者連合会）

## 3. 受託事業

---

### 〈評価と今後の方向性〉

行政からの運営費補助の増額が望めないなかで、社会福祉協議会は、行政からの委託事業を積極的に受託し、事業を実施していきたいと考えています。

総合福祉センターについては、指定管理から業務の一部を受託する方法に変更となりました。

### (1) 施設運営管理

総合福祉センターの一部業務（貸館業務）の委託により実施しました。また、安土デイサービスセンターについては、無償貸与を受け施設管理を行いました。

|         | 平成24年度         | 平成23年度         |
|---------|----------------|----------------|
| 貸館合計    | 1, 123件 (100%) | 1, 112件 (100%) |
| 市関係     | 578件 (51.5%)   | 560件 (50.4%)   |
| 福祉団体    | 385件 (34.3%)   | 404件 (36.3%)   |
| 社会福祉協議会 | 160件 (14.2%)   | 148件 (13.3%)   |

### (2) 相談事業

介護保険にかかわるサービス向上に向けて、市担当課と連携を図りました。

①介護保険総合相談受託事業

## 4. 関係機関事務

---

### 〈評価と方向性〉

共同募金、日本赤十字社社資募集について、自治会、団体および事業所等の協力を得て実施しました。

歳末たすけあい募金の助成先の変更については、平成25年度から実施できるよう検討をすすめていきます。

## (1) 近江八幡市共同募金委員会

共同募金委員会事務局として、共同募金の事務や啓発活動を行いました。

### ①赤い羽根共同募金

|          | 平成24年度     | 平成23年度     |
|----------|------------|------------|
| 赤い羽根共同募金 | 7,300,573円 | 7,566,527円 |

### ②歳末たすけあい募金

|           | 平成24年度     | 平成23年度     |
|-----------|------------|------------|
| 歳末たすけあい募金 | 4,709,120円 | 4,766,580円 |

### ③助成

助成においては、審査委員会を設置し、公正な助成を行っています。

#### 〔一般募金助成事業〕

|             |   |
|-------------|---|
| 高齢者福祉活動費    | 学区（地区）老人福祉事業                              |
| 児童・青少年福祉活動費 | 自治会（遊び場）、福祉活動推進校                          |
| 福祉育成・援助活動費  | 学区（地区）社協、里親会、市社協<br>手をつなぐ育成会、老人クラブ、江頭町自治会 |

#### 〔歳末たすけあい助成事業〕

|       |         |
|-------|---------|
| 歳末見舞金 | 重度障がい児者 |
|-------|---------|

### ④災害援護活動

火災見舞金：1件（20,000円）

## (2) 日本赤十字社滋賀県支部近江八幡市地区

日本赤十字社に協力し、活動資金である社資募集を行いました。

### ①日本赤十字社社資募集

|          | 平成24年度     | 平成23年度     |
|----------|------------|------------|
| 一般社資（個人） | 6,760,094円 | 6,111,524円 |
| 特別社資（法人） | 922,000円   | 1,382,500円 |

### ②災害援護活動

火災見舞金：1件（10,000円）



## 5. 団体事務

### 〈評価と方向性〉

市民生委員児童委員協議会、市赤十字奉仕団、保護司会の事務局を担い、地域福祉の推進を図りました。

今後とも連携しながら支援を行っていきたいと考えます。

①近江八幡市民生委員児童委員協議会

②近江八幡市赤十字奉仕団

③近江八幡保護区保護司会

## II 地域福祉課

### 1. 地域福祉活動の推進

#### 〈評価と方向性〉

地域福祉活動計画の初年度として、目標達成に向けて取り組みました。

平成24年度の新たな取り組みとしては、地域福祉活動計画の推進に向けた取り組みとして地域福祉活動委員会を開催しました。また、職員の地域担当制を取り入れ、地域に向く取り組みをすすめました。

今後とも地域に出向き支援する体制づくりをすすめていきます。

#### (1) 委員会の開催

①地域福祉活動委員会の開催

地域福祉活動計画の推進に向けて、進捗状況の管理とより良い取り組みに向けての検討を行いました。

| 開催日         | 内容                                   |
|-------------|--------------------------------------|
| 平成24年 8月28日 | ①地域福祉活動委員会の設置要綱について<br>②地域福祉活動計画について |
| 平成25年 3月 6日 | ①地域福祉活動計画進捗状況について                    |

#### (2) 学区（地区）社会福祉協議会活動の支援

①小地域ケア会議の開催

小学校区において、地域に密着した情報共有、課題解決の場として、市福祉総合相談課と共同で開催したものです。

平成24年度は、平成23年度に引き続き、八幡学区と安土地区において開催しました。開催地域を広げていくことができるよう、地域に働きかけていくことが必要です。

◇八幡学区

| 開催日         | 内 容  | 参加者 |
|-------------|--|-----|
| 平成24年 6月 2日 | ○講演「地域で見守りしていくための必要性と視点について」<br>講師：NPO 法人いっぷく 理事長 岡山かよ子さん<br>○グループワーク<br>・「地域で見守り活動を実施していくことの必要性について」<br>・「地域で実施している見守り活動の効果と課題について」 | 10名 |
| 平成24年 7月21日 | ○先進地事例紹介 大津市山中比叡平学区社会福祉協議会<br>○グループワーク<br>・「事例を聞いて感じたこと」<br>・「既存活動に取り入れたいこと、できたらいいなと思うこと」  | 10名 |
| 平成24年12月12日 | ○活動報告 常楽寺東横町「見守り支え合い隊」の取り組み<br>○グループワーク<br>・「見守りの必要性について活動を通じての意識の変化」<br>・「地域の変化について」<br>・「次年度の会議のあり方について」                           | 9名  |

◇安土地区

| 開催日         | 内 容   | 参加者  |
|-------------|---|------|
| 平成24年 5月26日 | ○講演「地域で見守りしていくための必要性と視点について」<br>講師：NPO 法人こもれび 理事長 森村敬子さん<br>○グループワーク<br>・「地域で見守り活動を実施していくことの必要性について」<br>・「地域で実施している見守り活動の効果と課題について」   | 92名  |
| 平成24年 6月23日 | ○先進地事例紹介 愛東町中戸福祉委員会<br>○グループワーク<br>・「事例を聞いて感じたこと」<br>・「既存活動に取り入れたいこと、できたらいいなと思うこと」  | 79名  |
| 平成24年8月～9月  | ○事例報告 ブロックごとに<br>○自治会ごとの話し合い<br>・「事例の感想」<br>・「新たに取り組んだこと、取り組んでみたいこと」<br>東ブロック8月27日 上豊浦ふれあいサロン 21名<br>南ブロック8月28日 西老蘇水曜サロン 23名<br>西ブロック8月30日 東横町見守り支え合い隊 31名<br>北ブロック9月 1日 十七お手伝いボランティア 34名 | 109名 |
| 平成25年 1月26日 | ○活動報告 常楽寺東横町「見守り支え合い隊」の取り組み<br>○グループワーク<br>・「見守りの必要性について活動を通じての意識の変化」<br>・「地域の変化について」<br>・「次年度の会議のあり方について」  | 57名  |

### ②地域福祉推進員活動の支援

地域福祉推進員は、各学区（地区）社協に1～2名設置し、学区（地区）社協会長とともに学区（地区）社協事業の企画や運営を行っていただくことを目的に設置するものです。

各学区（地区）社協の連携を深めるとともに情報交換を行うことを目的に地域福祉推進会議を開催しました。今年度は3回開催し、学区（地区）社協活動の取り組みの課題等を協議しました。

| 開催日         | 内容                                |
|-------------|-----------------------------------|
| 平成24年 6月 9日 | 地域福祉推進員の活動について<br>地域福祉活動計画について    |
| 平成24年10月 9日 | 福祉協力員の選任について<br>福祉協力員の研修方法について    |
| 平成25年 3月13日 | 福祉協力員の啓発資料について<br>平成25年度の取り組みについて |

### ③福祉協力員活動の支援

福祉協力員は、学区（地区）社協会長が自治会単位に設置をお願いし、委嘱するものです。平成24年度は、各学区（地区）社協で299名の福祉協力員が活動をされました。

ふれあいサロン活動や見守り活動など、身近な地域における福祉活動の必要性が高まっています。今後、福祉協力員の役割と活動内容が地域に浸透していくように、学区（地区）社協および地域福祉推進員と連携し、推進していく必要があります。

#### ◇学区（地区）社協別福祉協力員数

| 学区 | 八幡 | 島 | 岡山 | 金田 | 桐原 | 馬淵 | 北里 | 武佐 | 安土 | 合計  |
|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 人数 | 57 | 9 | 28 | 47 | 30 | 23 | 24 | 27 | 54 | 299 |

また、福祉協力員活動の支援を目的に研修会を開催しました。平成24年度は、市福祉総合相談課と連携し2回の研修会を開催したほか、各学区（地区）社協においても研修会を開催されました。

| 開催日         | 研修内容                                    | 参加者 |
|-------------|---|-----|
| 平成24年 6月 8日 | 「介護予防・いきいき百歳体操について」<br>講師：市福祉総合相談課      | 52名 |
| 平成24年 7月10日 | 「認知症の基礎知識・対応について」<br>講師：認知症介護指導士 渡辺哲弘さん | 43名 |

### ④学区（地区）社会福祉協議会会長会の開催

学区（地区）社協間の情報交換や連携を行っていくため、学区（地区）社協会長会を開催しました。

| 開催日         | 協議事項   |
|-------------|--|
| 平成24年 5月21日 | ① 理事会審議事項<br>② 地域担当制の実施について<br>③ 地域福祉活動計画について<br>④ 発展強化計画策定委員会・ボランティアセンター準備委員会について                         |
| 平成24年12月14日 | ①地域福祉活動計画について<br>②平成24年度上半期予算執行状況について<br>③理事・評議員の定数について<br>④発展強化計画について<br>⑤地域福祉推進員の推薦について<br>⑥福祉協力員の選任について |
| 平成25年3月21日  | ①理事会審議事項<br>②歳末たすけあい募金について<br>③福祉協力員の選任研修について  |

### ⑤学区社協担当者会議

学区社協の担当者間の情報交換および市社協地域福祉活動との連携を図るため、コミュニティセンターの各学区社協担当者会議を開催しました。

| 開催日         | 内容   |
|-------------|--|
| 平成24年 6月12日 | ①平成24年度市社協事業計画について<br>②市社協からの依頼事項について<br>③地域福祉活動計画について |

### ⑥武佐学区地域福祉計画策定への協力

武佐学区まちづくり協議会が策定した「武佐学区地域福祉計画」の策定に協力しました。  
策定協力期間：平成24年7月から平成25年3月

## (3) 自治会単位の地域福祉活動の推進

### ①ふれあいサロン活動の支援

住民同士のつながりを深め、支えあう地域づくりのため、各地域でふれあいサロンが開催され、閉じこもりがちな人の居場所づくりや地域における見守り活動として有効な活動として広がっています。今後、更に、身近な地域における交流の場と機会が増え、内容が充実するよう、各学区（地区）社協と連携し、推進していく必要があります。

| 学区               | 八幡 | 島  | 岡山  | 金田  | 桐原  | 馬淵  | 北里                | 武佐  | 安土  | 合計    |
|------------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-------------------|-----|-----|-------|
| 地域               | 19 | 8  | 11  | 17  | 20  | 12  | 6                 | 17  | 36  | 146   |
| 回数               | 85 | 60 | 100 | 163 | 218 | 204 | 51                | 113 | 521 | 1,515 |
| 平成23年度開催地域：138地域 |    |    |     |     |     |     | 平成23年度開催回数：1,427回 |     |     |       |

## ②小地域ネットワーク活動の支援

自治会を単位として、住民主体で見守り、支えあいのできる組織づくりを推進しました。

平成24年度は、平成23年度からの継続した支援をしている地区に加え、1地区の新規取り組みを支援しました。

今後、新たに取り組む地域を増やしていくことが課題です。

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 支援地域数 | 継続4か所 新規1か所                       |
| 支援内容  | 研修会等の情報提供、連絡調整、相談支援、活動把握、地域に出向き説明 |

## 2. ボランティア活動の支援

### 〈評価と方向性〉

ボランティアセンターの設立は、地域福祉活動計画の大きな柱の1つです。その設立に向けて、ボランティアセンター設立準備委員会を開催し、近江八幡市らしいボランティアセンターの目標と機能について協議いただきました。

この目標と機能に基づきボランティアセンターの運営を行っていきたいと考えています。

### (1) ボランティアセンター設立準備

#### ①ボランティアセンター設立準備委員会の開催

地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域の人に寄り添い、誰もが相談しやすいボランティアセンター設置に向けて、市と共同で準備委員会を開催し、ボランティアセンターの運営について協議を行いました。

| 開催日                | 内容   |
|--------------------|--|
| 第1回<br>平成24年 6月15日 | 設立準備委員会の位置づけについて<br>委員長・副委員長の選出について<br>ボランティアを取り巻く現状と課題について      |
| 第2回<br>平成24年 7月12日 | ボランティアセンターに対する期待について<br>ボランティアセンターの目標と機能について                     |
| 第3回<br>平成24年 8月 6日 | 先進地視察の結果報告について<br>ボランティアセンターと関係機関の連携について<br>ボランティアセンターの目標と機能について |
| 第4回<br>平成24年 8月24日 | ボランティアセンターの展開について  |
| 第5回<br>平成24年 9月21日 | ボランティアセンターの理念について<br>ボランティアセンターの展開を支える市の役割について                   |

## (2) ボランティアセンター機能強化事業の実施

### ①ボランティア活動相談

ボランティア活動等に関する情報提供や相談等を行い、活動の支援を行いました。

活動依頼では、ふれあいサロンや老人会などでのレクリエーション等の相談による調整が増加しました。

|           | 平成24年度      | 平成23年度      |
|-----------|-------------|-------------|
| 登録受付      | 個人66件・団体88件 | 個人53件・団体86件 |
| 相談受付・情報提供 | 231件        | 200件        |
| 活動依頼      | 140件        | 129件        |

### ②講座の開催

ボランティア講座を開催し、ボランティア活動の啓発に努めました。

平成24年度も障がい児（者）支援の講座を中心に講座を開催しました。昨年度の「ふくし伝えた隊講座（視覚障がい者編）」について、聴覚障がい者編を開催し、社協と一緒に福祉啓発に取り組むボランティアグループ育成を行いました。

#### ◇障がい児者支援ボランティア講座

| 開催日        | 内 容  | 参加者 |
|------------|--|-----|
| 平成24年5月19日 | 「障がいの特性・養護学校に通う子ども達」<br>場 所：県立野洲養護学校<br>講 師：県立野洲養護学校教諭 寺田伸一氏 | 18名 |
| 平成24年6月15日 | 「作業所ってどんなところ？」<br>場所：おうみ作業所                                  | 10名 |

#### ◇ちょボラ講座

| 開催日         | 内 容                   | 参加者 |
|-------------|-----------------------|-----|
| 平成24年11月 7日 | 園芸ボランティア<br>講師：近江花勝造園 | 10名 |

#### ◇ふくし伝えた隊講座〔聴覚障がい者編〕

| 開催日         | 内 容                               | 参加者 |
|-------------|-----------------------------------|-----|
| 平成25年 1月16日 | 「聴覚障がいってどんなこと？」<br>講師：市社協職員       | 7名  |
| 平成25年 1月30日 | 「ご存知ですか？みみの里」<br>みみの里見学           | 7名  |
| 平成25年 2月13日 | 「聴覚障がいの方からのお話」<br>近江八幡市聴覚障がい者福祉協会 | 7名  |
| 平成25年 2月27日 | 「交流しよう」                           | 7名  |

### ③安土町ボランティア連絡協議会の支援

ボランティア活動の推進のため、安土地区で活動されている安土町ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

## (3) ボランティア保険加入の窓口

### ①ボランティア保険の手続き

ボランティア活動保険加入の手続き窓口として、事務を行いました。

|        | 活動保険   | 行事用保険 | 福祉総合保障 |
|--------|--------|-------|--------|
| 平成24年度 | 2,516名 | 48件   | 3団体    |
| 平成23年度 | 2,555名 | 42件   | 3団体    |

## (4) 地域活動相談の実施

### ①地域コーディネーターの設置

退職前後の男性が地域活動をはじめるきっかけの相談窓口として地域コーディネーターによる相談活動を実施しました。

この相談事業の啓発を行い、相談したい方に知ってもらえるよう取り組んでいきます。

#### ◇退職前後のための地域活動相談

と き：毎週月曜日（第5週を除く） ところ：ひまわり館ボランティア室

内 容：退職男性を対象とした地域活動相談

開催日：47日

相談件数：11件（平成23年度 15件）

#### ◇地域コーディネーター会議の開催 4回開催

## (5) ボランティア広報紙の発行

### ①「はちまんボランティアだより」の発行

ボランティア活動推進のため、年3回（8月、11月、2月）発行し、回覧により啓発を行いました。

## 3. 災害時の組織体制の整備

### 〈評価と方向性〉

災害時にボランティアセンターを運営することは、社会福祉協議会の大きな役割ですが、そのためには、関係機関との連携が不可欠です。

平成24年度は、関係機関との意見交換の場として検討会議を開催しました。引き続き、開催し、関係機関とのネットワーク構築をすすめていきます。

### (1) 災害ボランティアセンターの体制整備

①災害ボランティアセンター開設・運営のためのネットワーク構築に向けた検討会議  
災害時における災害ボランティアセンターの開設・運営に向けた体制整備として、関係機関における意見交換を行いました。

| 開催日         | 内 容  |
|-------------|--|
| 平成25年 1月28日 | 「災害ボランティアセンターについて」<br>滋賀県社会福祉協議会地域福祉部 高橋宏和さん<br>意見交換 |

### ②講座の開催

災害ボランティア講座を開催し、災害時の共助の大切さについて学びました。

| 開催日         | 内 容   | 参加者 |
|-------------|---|-----|
| 平成25年 3月 8日 | 「滋賀県に想定されている災害」<br>～そこから自分のできること～<br>講 師:防災危機管理室 橋本氏<br>災害ボランティアセンター<br>市社協職員 | 17名 |
| 平成25年 3月11日 | 「いのちをつなげる」～ご近所による救助の大切さ～<br>講 師:近江八幡消防署                                       | 13名 |
| 平成25年 3月14日 | 「日頃の中で出来る防災」<br>～平日の昼間でも対応できる力～<br>講 師:たかしま災害支援ボランティアネットワークなまず                | 11名 |

### ③総合防災訓練参加

近江八幡市が実施する総合防災訓練に参加しました。実践的なマニュアル作成を行い、参加する必要があります。

と き:平成24年9月 9日 ところ:市民病院跡駐車場

内 容:ボランティアセンター開設訓練

## 4. 福祉教育の推進

〈評価と方向性〉

平成24年度は、平成23年度に養成した「ふくし伝え隊」と一緒に小学校において福祉啓発を実施しました。これからも、平成24年度に養成したグループとともに地域に向いていきたいと考えています。

### (1) 福祉学級

子どもたちに福祉に対する理解や関心をもってもらうことを目的に開催しました。



昼食を退職男性グループにお願いし、普段の活動をボランティアとして活かしていただく機会となりました。

| 開催日         | 内 容   | 参加児童 |
|-------------|---|------|
| 平成24年 8月22日 | 内容：「見えないってどんなこと？」<br>場所：近江八幡市老蘇小学校                              | 18名  |
| 平成24年12月15日 | 内容：障がい児余暇支援クラブ「はちの子」「すまいる」との交流会<br>「クリスマス会」<br>場所：総合福祉センターひまわり館 | 23名  |

## (2) 学校に対する啓発活動

### ①学校や地域等に対する啓発活動や福祉体験

学校や地域で行われた福祉学習への支援、協力を行いました。

依頼があった場合のみの関わりであったので、今後は、計画的に働きかけていく必要があります。

|        | 小学校   | 中学校 | 高等学校 | 専門学校 | その他 |
|--------|-------|-----|------|------|-----|
| 平成24年度 | 5校24件 | 0件  | 3校6件 | 1校1件 | 1件  |
| 平成23年度 | 2件    | 0件  | 3件   | 1件   | 9件  |

### ②福祉推進校への助成 3校（平成23年度3校）

## (3) 地域における福祉教育の推進

### ①ふれあいサロン活動等への職員派遣 3件（平成23年度3件）

### ②コミュニティセンターで開催された講座への協力 9件

## 5. 子育て支援事業

### 〈評価と方向性〉

社会福祉協議会では、市の委託事業として「つどいの広場」事業を実施しています。

今後は、委託事業の実施とともに小地域で取り組みが実践できるように検討していきます。

### (1) 子育て支援事業

就学前の子どもとその保護者が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中、互いに情報交換や交流を図る場として「つどいの広場事業」を開催しました。

事業を通して、子育てに不安がある保護者への相談援助活動や地域の子育て支援に関す

る情報提供、使わなくなった育児用品やおもちゃなどのリサイクル広場を行いました。

また、昼食時や料理教室において食育についてのお話しの場を設けました。今後、より多くの方に参加していただけるよう周知と内容の工夫をしていく必要があります。

そのほか、ボランティアの育成と充実を図るため、子育てボランティア講座を実施しました。

開催日：毎週火・水・金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

ところ：あいうの家（安土町上豊浦古民家）

内 容：お話広場（毎月第1火曜日） ティータイム&お誕生会（毎月第3水曜日）

ママ教室 遊びの広場

|        | 開催日数 | 延べ参加者  |
|--------|------|--------|
| 平成24年度 | 147日 | 3,367名 |
| 平成23年度 | 143日 | 3,393名 |

## 6. 高齢者支援事業

### 〈評価と方向性〉

平成24年度は、市から2事業の委託を受け、事業を実施しました。高齢者生きがい活動支援通所事業は、平成24年度で終了し、今後は世代交流事業のみを実施することになりますが、それぞれの地域で実施しているふれあいサロン事業との違いを明確にし、地域交流を図っていきたいと考えます。

#### ①高齢者生きがい活動支援通所事業

家に閉じこもりがちな高齢者に体操や趣味活動などの交流を通した予防サービスを行いました。

平成24年度で委託が終了しました。

| 開催場所      | 平成24年度 |        | 平成23年度 |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
|           | 開催回数   | 延べ利用人数 | 開催回数   | 延べ利用人数 |
| 常楽寺老人憩いの家 | 26回    | 404名   | 25回    | 391名   |

#### ②世代交流事業

子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄れる地域交流を開催し、情報交換や仲間づくりができる場として実施しました。

内容を参加者の話し合いで決め、協力して取り組めるようになりました。

多世代の交流が図れるよう内容の工夫と周知について検討が必要です。

| 開催場所          | 平成24年度 |        | 平成23年度 |        |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
|               | 開催回数   | 延べ利用人数 | 開催回数   | 延べ利用人数 |
| ひだまり庵（ふくふくの家） | 48回    | 1,083名 | 49回    | 936名   |

## 7. 障がい者支援事業

### 〈評価と方向性〉

地域との連携や手話通訳の派遣など本会の強みを活かした障がい者支援事業を実施しました。引き続き実施するとともに、今後は相談支援事業所の立ち上げも行っていきます。

### (1) 相談支援事業

#### ①障がい者生活支援相談受託事業

障がい者支援にかかわるサービスの向上に向けて、市障がい福祉課と連携を図りました。

#### ②ピアカウンセリング・知的障がい者生活相談

ピアカウンセリング、知的障がい者生活相談を実施しました。

知的障がい者の生活相談については、相談者の要望もあり、地域のコミュニティセンターを借りて実施しました。

|            | 相談日数 | 相談件数 | 平成23年度 |
|------------|------|------|--------|
| ピアカウンセリング  | 1日   | 1件   | 1件     |
| 知的障がい者生活相談 | 14日  | 14件  | 12件    |

### (2) 手話通訳事業

聴覚障がい者のコミュニケーション支援のため、手話通訳サービスを実施しました。

日野町、竜王町と委託契約を行い、手話通訳者を派遣しました。

|     | 手話通訳派遣 | 派遣日相談 | メール相談 | 合計   | 平成23年度 |
|-----|--------|-------|-------|------|--------|
| 日野町 | 60件    | 10件   | 25件   | 95件  | 119件   |
| 竜王町 | 52件    | 44件   | 21件   | 117件 | 135件   |

### (3) ガイドヘルプ事業

視覚障がい者の外出支援のためのガイドヘルプ事業を実施しました。

「居宅介護」においては、通院等社会生活上不可欠な外出を支援し、「同行援護」においては、余暇などの外出支援を行うサービスとして実施しました。

|        | 居宅介護 | 同行援護 |
|--------|------|------|
| 平成24年度 | 160件 | 228件 |
| 平成23年度 | 113件 | 71件  |

### (4) 障がい児福祉活動の推進

#### ①障がい児サマーホリデーサービス事業

夏休みに障がい児の余暇支援活動を実施しました。

事前に保護者懇談会を開催し、保護者の参加を呼びかけました。また、地域のボランティアや民生委員児童委員の協力のもと事業を実施し、障がい児の地域生活を考える機会となりました。8月10日に保護者交流会を開催しました。

期 間：平成24年7月24日～8月24日の期間のうち20日間

ところ：安土地区内公共施設、安土小学校、老蘇小学校、きぬがさ作業所

内 容：昼食づくり、おやつづくり、レクリエーション、作品づくり、水遊び  
バスによる外出（彦根子どもセンター、琵琶湖博物館）

きぬがさ作業所の仲間との交流

|        |        |     |           |           |
|--------|--------|-----|-----------|-----------|
| 平成24年度 | 療育教室登録 | 11名 | 延べ参加者160名 | 1日あたり8名   |
|        | 作業教室登録 | 3名  | 延べ参加者 17名 | 1日あたり2.8名 |
| 平成23年度 | 登録児童生徒 | 11名 | 延べ参加者138名 | 1日あたり6.9名 |
|        | 作業教室登録 | 1名  | 延べ参加者 4名  |           |

## ②障がい児休日生活支援事業

毎月1回、障がい児の休日の余暇支援活動を実施しました。バスの借用機会が減り、外出が少なくなりました。

5月12日、2月9日に保護者交流会を開催し、各5名が参加されました。

開催日：年10回 毎月第1土曜日（7月、8月を除く）に開催

ところ：安土地区内公共施設およびバスを利用しての外出

内 容：おやつづくり、いちご狩り、梨狩り

ひまわり館での交流イベント参加

|        |        |     |          |           |
|--------|--------|-----|----------|-----------|
| 平成24年度 | 登録児童生徒 | 11名 | 延べ参加者52名 | 1日あたり5.2名 |
| 平成23年度 | 登録児童生徒 | 9名  | 延べ参加者53名 | 1日あたり5.3名 |

## 8. 備品貸出

### 〈評価と方向性〉

本所、支所それぞれで実施しました。利用頻度は高く、今後とも実施していきたいと考えています。

### （1）備品貸出事業

#### ①車椅子の貸出

他制度・他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に車椅子の貸し出しを行いました。

|     | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-----|--------|--------|
| 本 所 | 319件   | 334件   |
| 支 所 | 35件    | 31件    |

## ②レクリエーション備品の貸出

ふれあいサロン活動のなどのためのレクリエーション備品の貸し出しを行い、地域活動の支援を行いました。

|    | 平成24年度 | 平成23年度 |
|----|--------|--------|
| 本所 | 54件    | 68件    |
| 支所 | 209件   | 216件   |

## 9. 福祉サービスの利用支援

### 〈評価と方向性〉

地域福祉権利擁護事業の利用者は伸びていますが、生活支援員が1名だけのため、専門員への負担が大きくなっています。

この事業の利用は、今後も増えていくことが予想されることから、職員体制の充実を図れるようつとめていきます。

### (1) 総合相談事業

住民の身近な相談所として、また、福祉課題の把握の窓口として、各種相談事業を実施しました。

心配ごと相談は、本所で月5回、支所で月1回開催しました。今後も周知を行っていく必要があります。

|            | 相談日数 | 相談件数 | 平成23年度 |     |
|------------|------|------|--------|-----|
| 心配ごと相談（本所） | 59日  | 26件  | 59日    | 30件 |
| （支所）       | 10日  | 1件   | 10日    | 4件  |
| 弁護士相談      | 12日  | 58件  | 56件    |     |
| 司法書士相談     | 2日   | 4件   | 4件     |     |

### (2) 地域福祉権利擁護事業

#### ①地域福祉権利擁護事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活ができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、書類預かり等を行う事業を実施しました。行政や地域の障がい者支援センターからの相談から契約にいたるケースが多くありました。契約件数は年々増加しています。

|        | 認知症高齢者等 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他          | 合計     |
|--------|---------|--------|--------|--------------|--------|
| 相談援助件数 | 637件    | 562件   | 998件   | 3件           | 2,200件 |
| 新規契約件数 | 6件      | 1件     | 5件     | 0件           | 12件    |
| 累計契約件数 | 16件     | 16件    | 23件    | 0件           | 55件    |
|        |         |        |        | 平成23年度累計契約件数 | 50件    |

## ②利用者交流会

地域福祉権利擁護事業利用者の孤立を防ぐことを目的に利用者交流会を開催しました。この交流会は、本事業利用者が地域でのつながりが少ないという課題が明らかになり、平成23年度から実施したものです。利用者にとって楽しみなイベントの一つになっています。

| 開催日         | 内容      | 参加者 |
|-------------|---------|-----|
| 平成24年 6月 9日 | 茶話会・ゲーム | 6名  |
| 平成24年11月10日 | 茶話会・ゲーム | 9名  |

平成23年度 参加者19名

## (3) 生活福祉資金貸付

### ①生活福祉資金相談等件数

滋賀県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として、相談支援活動を通して貸付事業を実施しました。

貸付手続きだけでなく、申し込み相談の内容からその世帯の抱えている、問題点を把握し、他の福祉サービスに繋げることができました。

|        | 平成24年度      | 平成23年度 |
|--------|-------------|--------|
| 相談件数   | 84件（延べ179件） | 373件   |
| 新規貸付件数 | 14件         | 14件    |

### ②小口資金貸付事業

生活保護適用までの方やすでに生活保護を受給されている方を対象に近江八幡市の補助事業として小口資金貸付事業を実施しました。

借受者の実数、延べ人数とも増加しています。

#### ◇小口資金貸付件数

| 平成24年度 | 平成23年度 |
|--------|--------|
| 155件   | 100件   |

## Ⅲ 在宅福祉課

### 1. 高齢者支援事業

#### 〈評価と方向性〉

ヘルパーステーションあづちの事業として実施しました。

生活支援事業は、社会福祉協議会の独自事業として実施し、利用者も大幅に増加しました。公的サービスでは対応できないサービスとして引き続き実施していきます。

## (1) 福祉輸送事業

### ①福祉輸送事業

公共交通機関の利用困難な要介護高齢者を対象に通院（介助）、送迎を行いました。

|       | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-------|--------|--------|
| 延べ利用者 | 91名    | 125名   |
| 延べ件数  | 182件   | 253件   |

## (2) 生活支援事業

### ①生活支援

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に公的サービスでは対応できないサービスに対応しました。

|       | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-------|--------|--------|
| 延べ利用者 | 35名    | 19名    |
| 延べ件数  | 37件    | 19件    |
| 派遣時間  | 69時間   | 34時間   |

## (3) 軽度生活支援サービス事業

### ①軽度生活支援サービス

一人暮らし高齢者が自立した生活を継続できるよう支援を行いました。

|       | 平成24年度 | 平成23年度 |
|-------|--------|--------|
| 延べ利用者 | 5名     | 15名    |
| 延べ件数  | 8件     | 43件    |
| 派遣時間  | 8時間    | 43時間   |

## 2. 介護保険事業

### 〈評価と方向性〉

平成24年度は、介護報酬等の改定があり、デイサービスのサービス提供時間を変更するなど介護報酬改定に合わせた見直しを行いました。

サービス提供時間の変更などにより、デイサービスではサービス提供時間を1時間延長しました。介護報酬の増額にもなりましたが、利用者の利用料負担にもつながっているため、今後ともサービスの質の向上をめざしていきたいと考えています。

居宅介護支援事業所は、統合のための準備を行いました。平成25年度は、1つの事業所として運営を行うので、サービスの低下とにならないよう努めていきます。

## (1) 居宅介護支援事業

介護保険サービスを適正に利用するために、居宅サービス計画を作成し、利用に関する相談や支援を行うとともに、主治医や介護サービス事業者等と調整を行いました。

「ひまわり」は、主任介護支援専門員2名を含む4名体制で、月平均123件の利用者を担当しました。地域包括支援センターからの紹介が12件あり、うち処遇困難ケース4件を受け入れました。

「あづち」は、職員の退職により特定事業所加算Ⅱが3か月間加算できず減収となりました。

### ①居宅介護支援事業所ひまわり

|        | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計    |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成24年度 | 12   | 30   | 602  | 357  | 183  | 172  | 122  | 1,478 |
| 平成23年度 | 3    | 8    | 528  | 400  | 161  | 116  | 78   | 1,294 |

### ②居宅介護支援事業所あづち

|        | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計    |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成24年度 | 2    | 13   | 308  | 269  | 92   | 85   | 79   | 848   |
| 平成23年度 | 2    | 13   | 511  | 376  | 178  | 129  | 103  | 1,301 |

## (2) 通所介護・介護予防通所介護事業

要介護状態の高齢者に対し、送迎、入浴、食事、レクリエーション等のサービスを実施しました。

平成24年度は、介護報酬の改定に基づき、サービス提供時間を6時間以上8時間未満から7時間以上9時間未満の時間帯に変更しました。

「ひまわり」は、要支援の利用者の枠を広げたことにより、要支援1の利用者が増加していますが、状態の悪化により要介護1の方も増加しています。

また、重度の利用者の新規受け入れにより、要介護5が増加傾向となっている。

「きらめきあづち」は、口腔機能向上加算、個別機能訓練加算、運動器機能向上加算のとり、機能向上をめざしました。

利用率90%という目標は、昨年度に引き続き達成しました。

### ①デイサービスセンターひまわり

|        | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4  | 要介護5 | 合計    |
|--------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 平成24年度 | 180  | 186  | 2,322 | 1,826 | 1,565 | 804   | 878  | 7,761 |
| 平成23年度 | 61   | 330  | 2,035 | 2,369 | 1,527 | 1,069 | 530  | 7,921 |



## ②デイサービスセンターきらめきあづち

|        | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  | 要介護4 | 要介護5 | 合計    |
|--------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 平成24年度 | 272  | 466  | 2,721 | 2,022 | 1,272 | 587  | 119  | 7,459 |
| 平成23年度 | 236  | 441  | 3,122 | 1,713 | 1,226 | 632  | 138  | 7,508 |

### (3) 認知症対応型・介護予防認知症対応型通所介護事業

認知症高齢者に対し、送迎、入浴、食事、レクリエーション等のサービスを実施しました。

平成24年度は、介護報酬の改定に基づき、サービス提供時間を6時間以上8時間未満から7時間以上9時間未満の時間帯に変更しました。

デイサービス利用を通して、利用者の役割づくりと居場所づくりを行ってきました。

平成23年11月以降、利用者の入所、入院が続き、新規利用者が少なかったため、利用率が低下傾向にありますので、改善ができるよう努めます。

#### ①デイサービスセンターほのほのあづち

|        | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計    |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成24年度 | 0    | 0    | 148  | 547  | 133  | 521  | 116  | 1,465 |
| 平成23年度 | 0    | 0    | 101  | 582  | 569  | 709  | 290  | 2,251 |

### (4) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

居宅において、自立した生活が営めるよう入浴、排泄、食事等生活全般の援助を行いました。

平成24年度の制度改正により利用者、訪問回数は増加しましたが、生活援助の訪問時間が1時間から45分に減ったため、派遣時間は減少しました。

#### ①ヘルパーステーションあづち

|        | 年間延べ利用者 | 年間延べ派遣時間 | 年間延べ派遣回数 | 生活援助派遣時間 | 身体介護派遣時間 | 乗降介助派遣時間 |
|--------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 平成24年度 | 563     | 6,935.5  | 8,589    | 2,328.5  | 4,254.75 | 138.25   |
|        | 要支援     | 380      | 380      |          |          |          |
| 平成23年度 | 524     | 7,439.5  | 8,142    | 3,031.5  | 4,288    | 117.5    |
|        | 要支援     | 381      | 371      |          |          |          |

## 3. 障がい者自立支援法に基づく障がい福祉サービス事業

### 〈評価と方向性〉

平成24年度の利用者は、平成23年度と比較して減少しましたが、社会福祉協議会の障がい福祉サービスの大きな柱となっています。

今後は、本所で実施しているガイドヘルプ事業との一体的運営（ブランチ化）について検討を行っていきたいと考えています。

### （１）居宅介護事業

身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方が居宅において自立した生活が営めるよう入浴、排泄、食事等生活全般の援助を行いました。

利用者が介護保険事業に移行したため、身体介護が減少しました。

#### ①居宅介護事業

|        | 延べ利用者 | 身体介護派遣時間 | 家事援助派遣時間 | 延べ派遣時間 |
|--------|-------|----------|----------|--------|
| 平成24年度 | 38    | 80       | 198      | 278    |
| 平成23年度 | 64    | 416      | 185      | 601    |